

取扱説明書

ロゴ転送ソフトウェア 2.1

Logo Transfer Software 2.1

Windows



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 ■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

はじめに	ロゴデータの生成方法を選択する 15
制約事項	ロゴデータの新規作成16
登録できるロゴの個数、最大画素サイズ、色数3	プロジェクターからロゴデータを読み込む17
ロゴに使用できるファイル形式	既存のロゴデータを開く17
コンピューターの設定と操作3	ロゴデータを編集する18
プロジェクター本体側の操作3	ロゴデータの拡大や編集ができない
ソフトウェア使用許諾契約書4	プロジェクターの場合18
セキュリティーに関するお願い5	ロゴデータの拡大や編集ができる
ソフトウェアのインストールについて6	プロジェクターの場合21
動作環境	ロゴデータを転送する26
インストールの方法6	ロゴデータを保存する26
アンインストールの方法7	接続先プロジェクターを変更する 27
ソフトウェアを起動する8	接続先選択画面
プロジェクターと接続する	ソフトウェアを終了する28
シリアル (RS-232C) での接続方法	エラーメッセージ一覧29
LAN での接続方法12	困ったとき
	商標について 34

はじめに

本書は、ロゴ転送ソフトウェアの取扱説明書です。

本書では作成した図や文字などを総称して「ロゴ」と表現します。

プロジェクターが投写をはじめたとき、信号が入力されていないときなどにロゴを映し出すこ とができます。

このソフトウェアを用いて、プロジェクターで表示したいロゴをお客様のお好みにあわせてビットマップから自由に作成することができます。

作成したロゴデータは、コンピューターからシリアル(RS-232C)通信または LAN 経由で プロジェクターに転送することができます。

また、プロジェクターにすでに登録されているロゴデータをコンピューターに読み込んで、保存することも可能です。

さらにこのソフトウェアを用いて、ロゴの大きさ、画面上の位置、背景色を自由に設定することもできます。

 ※ご使用のプロジェクターにより本ソフトウェアの制約事項が異なります。
 詳しくは弊社 WEB サイト(https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_ projector_download)の本ソフトウェア「対応機種一覧表」をご覧ください。

登録できるロゴの個数、最大画素サイズ、色数

ご使用のプロジェクターにより本ソフトウェアの制約事項が異なります。 詳しくは、弊社 WEB サイト(https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_ projector_download)の本ソフトウェア「対応機種一覧表」をご覧ください。

ロゴに使用できるファイル形式

ビットマップ形式のみ対象となります。

≪著作権についての注意事項≫

本ソフトウェアにてロゴデータを作る際、ロゴデータに使用するビットマップは、著作権者の 許諾を確実に得ていただくようお願いいたします。

著作権法で認められる場合を除き、著作権者の事前の許諾なしに利用することは著作権法で 禁止されています。

許諾を得ることなく使用された場合、弊社は一切の責任を負いません。

コンピューターの設定と操作

お使いのコンピューターの電源設定により省電力状態に移行しますとロゴの転送に失敗する 場合があります。

本ソフトウェア使用時はあらかじめお使いのコンピューターの電源設定を省電力状態に移行 しない状態にしてください。

ロゴ転送中にコンピューターのログオフ、ユーザーの切り替えやシャットダウン等を実行され ますとロゴの転送に失敗する場合があります。本ソフトウェア使用時はログオフ、ユーザーの 切り替え、シャットダウン等を実施しないでください。

プロジェクター本体側の操作

ロゴ転送中にプロジェクター本体の電源をオンまたはオフにするとロゴの転送に失敗する場合 があります。本ソフトウェア使用時はプロジェクター本体の電源操作は行わないでください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアについては、「ソフトウェア使用許諾契約書」の内容を承諾していただくことが、 ご使用の条件になっております。

本ソフトウェアをご使用になった時点で、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意していただいたものとみなします。

第1条権利

お客様は、本ソフトウェアの使用権を得ることはできますが、著作権もしくは知的財産権が お客様に移転するものではありません。

第2条第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者 に譲渡あるいは使用させることはできません。

第3条 コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは、保管(バックアップ)の目的のためだけに限定されます。

第4条使用コンピューター

本ソフトウェアは、お客様が所有または管理する複数台のコンピューターにおいて使用する ことができます。

第5条 解析、変更または改造

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。

お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の 保証をいたしません。

また、解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社および販売店、 販売代理店等は責任を負いません。

第6条 アフターサービス

お客様がご使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書 でお問い合わせください。

お問い合わせの本ソフトウェアの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り(バグ)や使 用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

なお、本ソフトウェア仕様は予告なく変更することがあります。

第7条免責

本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第6条のみとさせていただきます。

本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請 求については、弊社 および販売店、販売代理店等はその責任を負いません。

なお、弊社プロジェクターの使用を伴わない本ソフトウェアの動作保証は一切行いません。

第8条輸出管理

お客様は、本ソフトウェアを購入した国以外の国に持ち出される場合、その国および関係す る各国の輸出管理に関連する法規を順守してください。

- 以下のことをあらかじめご了承ください。-

プロジェクターによるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、 あらかじめご了承ください。

セキュリティーに関するお願い

本ソフトウェアをご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。

- ・本ソフトウェアを経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- ・悪意のある第三者による本ソフトウェアの不正操作
- ・ 悪意のある第三者による本ソフトウェアの妨害や停止

セキュリティー対策を十分に行ってください。

- ・パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- ・パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- ・パスワードは定期的に変更してください。
- ・パナソニック株式会社および、その関係会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
- ・ファイアウォールなどで安全性の確保されたネットワークでご使用ください。

お知らせ

プロジェクターによっては無線 LAN で接続することができますが、本ソフトウェアを無線 LAN 環境で使用することはお勧めしません。

無線 LAN で接続した場合、セキュリティーや LAN の環境に関して、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

動作環境

OS

- Microsoft Windows 10 Windows 10 (32bit/64bit版), Windows 10 Pro (32bit/64bit版) Windows 8.1 (32bit/64bit版), Windows 8.1 Pro (32bit/64bit版)
 - ・上記 OS の日本語版、英語版、中国語版に対応。

その他

- ・CPU/RAM は、Microsoft 社の各 OS のシステム要件を満たしてください。
- ・画面の解像度は、XGA 以上、画面の色数は 16bit 以上でご利用ください。
- ・シリアル端子もしくは LAN 端子のいずれかが必要です。

お知らせ

- コンピューターのディスプレイの設定を100%にしてご使用ください。表示が崩れる場合 があります。
- ・上記システム環境以外で使用された場合、および自作コンピューターで使用された場合の 動作保証は一切いたしません。

上記の条件を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。

※本書で使用している画面イメージは、予告なく変更される場合があります。

インストールの方法

1.	本ソフトウェアを WEB サイトからダウンロード	して
	ファイルを解凍します。	
6		

解凍して作成されたフォルダー内の、[Setup.exe]を ダブルクリックするとインストーラーが起動します。

録 Logo Transfer Software Ver.*** Logo Transfer Software V ードへようこそ	′er. ** *	セット	ー アップ ウ	ィザ	[×
インストーラーは Logo Transfer Softwa 示します。	ıre Ver,≉**	をインスト	ールするため	かこ必!	要な手	順を
この製品は、著作欄に関する法律およな または一部を無断で複製したり、無断で 注意ください。	○国際条約1 (複製物を)通 キャンセク	こより保護さ 布すると、朝	れています。 寄作権の侵害	.この集 きなり	と見ていますの。	全部)でご ())))

画面の指示に従ってインストールを行ってください。

インストールの方法 (つづき)

2. インストールが完了するとデスクトップにショートカットが作成されます。



お知らせ

- すでに同じバージョンのソフトウェアがインストールされている場合は、「修復」もしくは「削除」の選択画面が表示されます。
- ・本ソフトウェアをアンインストールする場合は「削除」を、不具合を修復する場合は「修復」
 を選択し、画面の指示に従って対応してください。



・日本語版、中国語版の本ソフトウェアを各々の言語以外の OS にインストールすると、 フォントが正常に表示できない場合があります。

アンインストールの方法

- 1. 次の操作を行ってください。
 - Windows 10の場合
 タスクバーの検索ボックスで「アプリと機能」と入力して選択し、[Logo Transfer Software Ver.2.*]^{*1}を選択して[アンインストール]をクリックします。
 Windows 8.1の場合

キーボードの [Windows ロゴ] を押しながら [X] を押して、[コントロールパネル] → [プ ログラムのアンインストール] から [Logo Transfer Software Ver.2.*]*¹を選択して [アンインストール] をクリックします。

- *1 *アスタリスクは、ソフトウェアのバージョンの一部が表示されます。
- 2. 画面の指示に従ってアンインストールしてください。

デスクトップ上のショートカットアイコンをダブルクリック、または[スタート]→ [Panasonic] → [LogoTransferSoftware] を選択します。 スプラッシュウインドウの表示後、接続先の選択画面が表示されます。



お知らせ

本ソフトウェアで接続操作を行うと、実行ファイルと同じフォルダーに、設定した値を自動 記録するための「LogoTransferSoftware.ini」というファイルが自動的に作成されます。 データは接続操作ごとに更新され、最後に行った接続操作設定情報で上書きされます。 このファイルを削除した場合は、前回の設定記録は消えますが、次回ソフトウェア起動後の 接続操作時に新たに自動で作成されます。

プロジェクターと接続する

お使いのコンピューターからロゴデータの転送を行うために、コンピューターと プロジェクターを接続する必要があります。

接続にはシリアル(RS-232C)接続、LAN 接続の2通りの方法があります。

お知らせ

- ・プロジェクターの機種によってはシリアル(RS-232C)接続もしくはLAN 接続のどちらか 1 通りの方法しかできないプロジェクターもあります。詳しくは、弊社 WEB サイト(https:// biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_projector_download)の本ソフトウェア 「対応機種一覧表」をご覧ください。
- コンピューターとプロジェクターが接続されていない場合は、本ソフトウェアは接続先の 選択画面より先に進みません。
- ・接続するプロジェクターの通信条件やLANの設定などの情報については、プロジェクターの取扱説明書を参考にお調べください。

シリアル(RS-232C)での接続方法

1. 準備

D-Sub9pin のケーブルでコンピューターとプロジェクターのシリアル(RS-232C)IN 端子を接続してください。

お知らせ

- ・プロジェクターの機種によってシリアル(RS-232C)IN端子の名称は異なります。
- ・使用可能なケーブルの種類については、プロジェクターの取扱説明書をご確認ください。
- 2. 設定

図1、2のように、接続するプロジェクターによって、設定を行う項目が異なります。 接続先のプロジェクターを選択して、選択ができる項目の設定を行ってください。

≪⊠1≫

	7 Logo Transfer Soft	ware				>	<
(1)—	—ファイル(F) 言語(Lang	uage)(L) About(A)					
	接続先プロジェクター	PT-RQ32K / PT-RQ32YR / PT-	RQ32YL			~	
	接続方法						
	◯LAN設定			● シリアル設定	E		
	IPアドレス	192 . 168 . 0 . 8		プロジェクターID	ALL	~	(4)
	ポート	1024		ポート	COM3	~	(5)
	アカウント名			通信速度	9600	~	
	パスワード			パリティ	なし	~	-7
				ОК	終了		
				9	8		

シリアル (RS-232C) での接続方法 (つづき)

≪図2≫

	🚡 Logo Transfer Software X	
$\bigcirc -$	- ファイル(F) 言語(Language)(L) About(A)	-
	接続先プロジェクター (21-1890 / 21-1878 / 21-1875	-2
	後続方法 ● シリアル設定	-3
	ポート COM3 🗸	-5
	通信速度 9600 ~	
	/約577 <mark>なし ~</mark>	
	OK 終了	

- ●システムメニュー
 ・ファイル→終了
 - 本ソフトウェアを終了します。
 - ・ 言語 (Language) → English 本ソフトウェアの表示言語を 英語に切り替えます。
 - ・言語 (Language) →日本語 本ソフトウェアの表示言語を 日本語に切り替えます。
 - ・言語 (Language) →中文
 本ソフトウェアの表示言語を
 中国語に切り替えます。
 - About →バージョン情報
 本ソフトウェアのバージョン
 を表示します。

 このgo Transfer Software
 ファイル(F) 言語(Language)(L) About(A)
 終了(X) PT-RQ32K / PT-RQ32YR 接続方法

(8)

(9)

Zogo Transfer Software
 ファイル(F) 言語(Language)(L) About(A)
 接続先 English(E)
 RQ32YR
 接続方 日本語(J)
 中文(C)
 レロマロンスE



お知らせ

「ファイルを開く」など一部の画面のメッセージは、言語設定にかかわらず、お使いのコン ピューターの使用言語で表示されます。

シリアル (RS-232C) での接続方法 (つづき)

② 接続先プロジェクター
 接続するプロジェクターの機種名を選択します。

選択したプロジェクターによって、以下③~⑦のうち設定不要な項目は、非表示または選択不可になります。

- ③ シリアル設定ラジオボタン プロジェクターとの接続方法としてシリアル (RS-232C) での接続か、LAN での 接続 (→ 12 ページ) かを選択できます。 ここでは、[シリアル設定] を選択します。
- ④ プロジェクター ID 接続するプロジェクターに設定している ID ナンバーを指定します。
 ALL、1~64 または1~6 から選択します。
- ⑤ポート

プロジェクターとの接続に使用しているコンピューターの COM ポートの番号を 選択します。

⑥通信速度

プロジェクターに設定されているシリアル(RS-232C)の通信速度を選択して ください。

⑦パリティ

接続するプロジェクターに設定しているシリアル(RS-232C)のパリティを選択 してください。

⑧終了

本ソフトウェアを終了します。

9 OK

入力した設定で、プロジェクターと接続します。

3. プロジェクターの接続完了

②~⑦までの設定が完了し、⑨でプロジェクターとの接続が成立すると、ロゴデータの
 生成方法を選択する画面が表示されます。(→15ページに進んでください)

LAN での接続方法

1. 準備する

コンピューターとプロジェクターを直接 LAN ケーブルで接続する場合はクロスの LAN ケーブルで接続してください。それ以外の場合(HUB で中継している場合など)は ストレートの LAN ケーブルで接続してください。

- ネットワークの設定 プロジェクターと接続するコンピューターのネットワーク設定を行ってください。 (詳しくはネットワーク管理者に確認してください。)
- 3. 設定

接続するプロジェクターのネットワーク設定を確認し、IP アドレス、ポート、アカウント およびパスワードを設定してください。

お知らせ

プロジェクターの [ネットワーク] メニューにある [ネットワークコントロール] もしくは [コマンドコントロール] は ON にしておいてください。 OFF になっていると接続できません。

	📸 Logo Transfer Software		×			
\bigcirc	ーファイル(F) 言語(Language)(L) About(A)					
2			~			
	接続方法					
3-	OLANBE	○シリアル設定				
<u>(</u> 4) —	IPアドレス 192 . 168 . 0 . 8	プロジェクターID ALL 🗸				
(5)	ポート 1024	ポート <mark>сомз 、</mark>				
6		通信速度 9600 🗸 🗸 🗸				
\overline{O} —		パリティ なし 🗸 🗸				
		OK 終了				
		9 8				

LAN での接続方法 (つづき)

- ①システムメニュー
 - ファイル→終了
 本ソフトウェアを終了します。
 - ・言語 (Language) → English 本ソフトウェアの表示言語を 英語に切り替えます。
 - ・言語 (Language) →日本語 本ソフトウェアの表示言語を 日本語に切り替えます。
 - ・言語 (Language) →中文 本ソフトウェアの表示言語を 中国語に切り替えます。
 - About →バージョン情報
 本ソフトウェアのバージョン
 を表示します。

7 Logo Transfer Software						
ファイル(F) 言語(Language)(L) About(A)						
終了((X)	PT-RQ32	к / PT-RQ32YR			
接続方	法					

7	7 Logo Transfer Software					
ファ	イル(F)	T	틉(Language)(L)	Abo	ut(A)	
	接続先		English(E)		-RQ32YR	
	接続方	•	日本語(J)			
		中文(C)				
	,	<u> </u>	MARXAE			

7 Logo Transfer Software						
ファイル(F) 言語(Language)(L) About(A)						
接続先プロジェクター PT-RQ32		バージ	ョン情報(V)			
接続方						

お知らせ

「ファイルを開く」など一部の画面のメッセージは、言語設定にかかわらず、お使いのコン ピューターの使用言語で表示されます。

② 接続先プロジェクター
 接続するプロジェクターの機種名を選択します。

選択したプロジェクターによって、以下③~⑦のうち設定不要な項目は、非表示または選択不 可になります。

③ LAN 設定ラジオボタン

プロジェクターとの接続方法として LAN での接続かシリアルでの接続 (→9ページ) かを選択します。ここでは [LAN 設定]を選択します。

④IPアドレス

接続するプロジェクターに設定されている IP アドレスを入力します。

⑤ポート

接続するプロジェクターに設定されているコマンドポート番号を入力します。

⑥ アカウント名

接続するプロジェクターに設定されているアカウント名を入力します。

LAN での接続方法 (つづき)

⑦パスワード

接続するプロジェクターに設定されているパスワードを入力します。

お知らせ

- ・プロジェクターに設定している IP アドレス、コマンドポート番号はプロジェクターのオン スクリーンメニューまたはネットワーク機能の WEB コントロール(WEB 制御)の詳細設 定画面から確認することができます。
- ・プロジェクターに設定しているアカウント名・パスワードは、ネットワーク機能の WEB コントロール(WEB 制御)で設定した管理者権限のアカウント名・パスワードになります。
- ・接続するプロジェクターの機種によってはアカウント名は固定になります。

⑧終了

本ソフトウェアを終了します。

9 OK

入力した設定で、プロジェクターと接続します。

4. プロジェクターの接続完了

②~⑦までの設定が完了し、⑨でプロジェクターとの接続が成立すると、ロゴデータの 生成方法を選択する画面が表示されます。(→15ページに進んでください)

ロゴデータの生成方法を選択する

コンピューターとプロジェクターの接続が成立すると、下図の画面が表示されます。 目的に応じて生成方法を選択してください。



- □ ロゴデータの新規作成
 お使いのコンピューターに保存されているビットマップを使用してロゴデータを作成します。(→16ページ)
- ② プロジェクターからロゴデータを読み込む
 プロジェクターに登録されているロゴデータを使用してロゴデータを生成します。
 (→ 17 ページ)

お知らせ

接続したプロジェクターおよびプロジェクターとの接続方法によっては、この機能は使用 できません。

- ③ 既存のロゴデータを開く すでに一度作成した、お使いのコンピューターに保存されているロゴデータを使用して ロゴデータを生成します。(→17ページ)
- ④終了

本ソフトウェアを終了します。

⑤ キャンセル

接続先選択画面に戻ります。

ロゴデータの新規作成

「ロゴデータの新規作成」を選択すると [ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。

ロゴデータに使用したいビットマップを選択してください。ファイルを読み込み後、 ロゴデータを編集する画面が表示されます。(→18ページ)

お知らせ

- ・ロゴデータに使用できるファイルはビットマップ形式のみが対象となります。
- ・ロゴデータに使用できるビットマップの画素サイズは、接続中のプロジェクターにより 異なります。
- ・ロゴデータに使用できる色数は、接続中のプロジェクターにより異なります。
 使用できる色数を超えている場合は、本ソフトウェア内部で自動的に減色されます。

ご使用のプロジェクターにより本ソフトウェアの制約事項が異なります。 詳しくは、弊社 WEB サイト(https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_ projector_download)の本ソフトウェア「対応機種一覧表」をご覧ください。

プロジェクターからロゴデータを読み込む

「プロジェクターからロゴデータを読み込む」を選択すると下図の画面が表示されます。 読み込みを行うロゴを選択後、「OK」ボタンをクリックしてください。

Logo Transfer Software	×	
接続中のプロジェクター	DZ12000	
ロゴデータを読み込みます プロジェクター内のどちらのロゴ	を読み込みますか?	
ブロジェクターロゴ ・ ・ ・ ロゴ1		-(1)
<u>O 0</u> 2		0
	ок <i>キャンセル</i>	

プロジェクターロゴデータの選択
 読み込みを行うロゴデータを指定します。

お知らせ

- ・ご使用のプロジェクターにより、ロゴデータが登録される場所が1つの場合はロゴの選択 は不要です。「OK」ボタンをクリックしてください。
- ・プロジェクターによりロゴデータの読み込みに時間がかかる場合があります。

20K

指定されたロゴデータを読み込みます。ロゴデータを読み込み後、ロゴデータを編集す る画面が表示されます。(→18ページ)

③キャンセル

ロゴデータの生成方法を選択する画面に戻ります。

既存のロゴデータを開く

「既存のロゴデータを開く」を選択すると、[ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されますので開きたいファイル(.dat または .bmp)を選択してください。

ファイルを読み込み後、ロゴデータを編集する画面が表示されます。(→18ページ)

ロゴデータを編集する

ロゴデータの拡大や編集ができるプロジェクターの場合には、ロゴデータの拡大、表示位置の 変更、背景色、透過色の設定ができます。ロゴデータの拡大や編集ができないプロジェクター の場合には、ビットマップで読み込んだロゴデータをそのまま転送することになります。

※ ロゴデータの拡大や編集ができるプロジェクターの場合は 21 ページに進んでください。

ロゴデータの拡大や編集ができないプロジェクターの場合





ロゴデータの拡大や編集ができないプロジェクターの場合 (つづき)

- ①システムメニュー
 - ファイル→終了
 本ソフトウェアを終了します。
 - ・言語 (Language) → English 本ソフトウェアの表示言語を 英語に切り替えます。
 - ・言語 (Language) →日本語 本ソフトウェアの表示言語を 日本語に切り替えます。
 - ・言語 (Language) →中文 本ソフトウェアの表示言語を 中国語に切り替えます。
 - About →バージョン情報
 本ソフトウェアのバージョン
 を表示します。

7 Logo Transfer Software					
ファイル(F) 言語(Language)(L) About(A)					
終了((X)	PT-RQ32	к / PT-RQ32YR		
接続方法					



😹 Logo Transfer Software						
ファイル(F) 言語(Language)(L) About(A)						
接続先プロジェクター PT-RQ32		バージ	ヨン情報(V)			
接続方法						

お知らせ

「ファイルを開く」など一部の画面のメッセージは、言語設定にかかわらず、お使いの コンピューターの使用言語で表示されます。

- ② プレビュースクリーン 接続中のプロジェクターに投写する画面と同じように、実際のロゴの表示状態を縮小 イメージにて表示します。
- ③ 開く・保存 ロゴデータの読み出し・保存をするためのメニューを表示します。
- ④ 接続中のプロジェクター現在接続中のプロジェクター機種名が表示されます。
- ⑤ 接続先プロジェクターの変更
 接続するプロジェクターを変更します。(→ 27 ページ)

ロゴデータの拡大や編集ができないプロジェクターの場合 (つづき)

⑥ロゴデータの新規作成

ビットマップを新たに読み込みます。(→16ページ)

⑦ プロジェクターからロゴデータを読み込む
 プロジェクターに登録されているロゴデータを読み込みます。(→17ページ)

⑧ 既存のロゴデータを開く

コンピューターに保存されているロゴデータを読み込みます。(→17ページ)

お知らせ

⑥⑦⑧の操作でデータを読み込むと現在表示中のロゴデータは破棄されます。 すでにプレビュースクリーンに表示がされていて保存が必要な場合は、⑥⑦⑧の操作を行う前にロゴデータの保存を行ってください。

⑨ ロゴデータの保存

ロゴデータをコンピューターに保存します。(→26ページ)

⑩転送

ロゴデータをプロジェクターに転送するメニューを表示します。

① ロゴデータ転送

プレビュースクリーンで表示されているイメージで、ロゴデータをプロジェクターに 転送します。(→ 26 ページ)

12終了

本ソフトウェアを終了します。

ロゴデータの拡大や編集ができるプロジェクターの場合







① システムメニュー

- ファイル→終了
 本ソフトウェアを終了します。
- ・言語 (Language) → English 本ソフトウェアの表示言語を 英語に切り替えます。
- ・言語 (Language) →日本語 本ソフトウェアの表示言語を 日本語に切り替えます。
- ・言語 (Language) →中文
 本ソフトウェアの表示言語を
 中国語に切り替えます。
- About →バージョン情報
 本ソフトウェアのバージョン
 を表示します。

お知らせ

「ファイルを開く」など一部の画面のメッセージは、言語設定にかかわらず、お使いの コンピューターの使用言語で表示されます。

器 Logo Transfer Software			
ファイル(F)	言語(Langu	uage)(L)	About(A)
終了(X)		PT-RQ32	к / PT-RQ32YR
接続方法			



\overline Logo Transfer Softv	vare		
ファイル(F) 言語(Langu	iage)(L)	About(A)	
接続先プロジェクター	PT-RQ32	バージ	ョン情報(V)
接続方法			

ロゴデータの拡大や編集ができるプロジェクターの場合 (つづき)

ビットマップスクリーン
 読み込んだロゴデータを表示します。

お知らせ

接続したプロジェクターによっては、ビットマップスクリーンは表示されません。

- ③ プレビュースクリーン 接続中のプロジェクターに投写する画面と同じように、実際のロゴの表示状態を縮小 イメージにて表示します。
- ④開く・保存ロゴデータの読み出し・保存をするためのメニューを表示します。
- ⑤ 接続中のプロジェクター現在接続中のプロジェクター機種名が表示されます。
- ⑥ 接続先プロジェクターの変更
 接続するプロジェクターを変更します。(→ 27 ページ)
- ⑦ ロゴデータの新規作成
 ビットマップを新たに読み込みます。(→16ページ)
- ⑧ プロジェクターからロゴデータを読み込む
 プロジェクターに登録されているロゴデータを読み込みます。(→17ページ)

お知らせ

接続したプロジェクターおよびプロジェクターとの接続方法によっては、この機能はご使用 できません。

⑨ 既存のロゴデータを開く

コンピューターに保存されているロゴデータを読み込みます。(→17ページ)

お知らせ

⑦⑧⑨の操作でデータを読み込むと現在表示中のロゴデータは破棄されます。 すでにプレビュースクリーンに表示がされていて保存が必要な場合は、⑦⑧⑨の操作を行う前にロゴデータの保存を行ってください。

10 ロゴデータの保存

ロゴデータをコンピューターに保存します。(→26ページ)

① 設定

読み出したロゴデータの編集・設定を行うメニューを表示します。

ロゴデータの拡大や編集ができるプロジェクターの場合 (つづき)

(12) 倍率設定(水平)

ロゴデータがスクリーンからはみ出さない大きさまでサイズを変更できます。 選択可能な倍率は×1,×2,×4,×8です。

お知らせ

- ・サイズを変更すると表示位置がセンター位置になります。
- ・接続したプロジェクターによっては、この機能は使用できません。

⑬ 倍率設定(垂直)

ロゴデータがスクリーンからはみ出さない大きさまでサイズを変更できます。 選択可能な倍率は×1, ×2, ×4, ×8です。

お知らせ

- ・サイズを変更すると表示位置がセンター位置になります。
- ・接続したプロジェクターによっては、この機能は使用できません。

19 センターチェックボックス

ロゴデータをスクリーンのセンターに配置します。

お知らせ

- ・センター以外の位置に移動する場合はチェックを外してください。
- ・接続したプロジェクターによっては、この機能は使用できません。

⑮ 表示位置(水平)

ロゴデータがスクリーンからはみ出さない位置までの間でロゴデータの位置を移動する ことができます。

お知らせ

接続したプロジェクターによっては、この機能は使用できません。

16表示位置(垂直)

ロゴデータがスクリーンからはみ出さない位置までの間でロゴデータの位置を移動する ことができます。

お知らせ

接続したプロジェクターによっては、この機能は使用できません。

ロゴデータの拡大や編集ができるプロジェクターの場合 (つづき)

17 背景色

ロゴデータ周辺の背景色の有効・無効を選択します。



お知らせ

接続したプロジェクターによっては、この機能は使用できません。

18 色の設定ボタン

背景色に使用する色を設定します。OS標準の「色の設定」ダイアログボックスが表示 されます。

お知らせ

接続したプロジェクターによっては、この機能は使用できません。

19 透過色

ロゴデータの左上の1 ドットの色を透過色に設定することで、 ロゴデータ内の透過色に設定した色以外の部分を表示することができます。



お知らせ

接続したプロジェクターによっては、この機能は使用できません。

20 転送

ロゴデータをプロジェクターに転送するメニューを表示します。

② ロゴデータ転送

プレビュースクリーンで表示されているイメージで、ロゴデータをプロジェクターに 転送します。(→ 26 ページ)

22 終了

本ソフトウェアを終了します。

「ロゴデータの転送」を実行すると下図の画面が表示されます。

Logo Trai	nsfer Software			×
	接続中のプロジェクター	DZ12000		
<u> </u>	ロゴデータを上書きします プロジェクター内のどちらに係	存しますか?		
	プロジェクターロゴ			
	0 2Ľם 0			
		ОК	キャンセル]

プロジェクターロゴの選択
 ロゴデータの転送先を指定します。

お知らせ

- ・ご使用のプロジェクターにより、ロゴデータが登録される場所が1つの場合はロゴの選択は 不要です。「OK」ボタンをクリックしてください。
- プロジェクターによりロゴデータの転送に時間がかかる場合があります。

2 OK

指定されたロゴデータを転送します。ロゴデータを転送後、ロゴデータを編集する画面 が表示されます。(→18ページ)

③キャンセル

ロゴデータを編集する画面に戻ります。

ロゴデータを保存する

[ロゴデータの保存]を実行すると、[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されますので、ファイル名を付けて保存してください。

現在接続中のプロジェクターとは異なるプロジェクターに続けて接続する場合は接続先 プロジェクターの変更が必要です。

ロゴデータの編集作業を実施している場合は下図のような保存確認画面が表示されます。



() はい

ロゴデータを保存します。ロゴデータの保存完了後、接続先選択画面が 表示されます。

②しいえ

ロゴデータの保存をせずに、接続先選択画面に戻ります。

③キャンセル

プロジェクターの変更をキャンセルし、ロゴデータを編集する画面に戻ります。

接続先選択画面

プロジェクターの変更を選択すると接続先選択画面が表示されます。

「プロジェクターと接続する」(→8ページ)に戻り、新しい接続先のプロジェクター機種を 選択し、設定してください。

お知らせ

キャンセルボタンをクリックするとロゴデータを編集する画面に戻ります。

\overline Logo Transfer Software	>	C Z Logo Transfer Software	×
ファイル(F) 言語(Language)(L) About(A)		ファイル(F) 言語(Language)(L) A	About(A)
接続先プロジェクター PT-RQ32K / PT-RQ32YR / PT-RQ32YL	~	接続先プロジェクター PT-RZ970 /	/PT-RW930 / PT-RX110 ~
据统方法		接続方法	
〇 LAN設定	 シリアル設定 	●LAN設定	○シリアル設定
IPアドレス 192 . 168 . 0 . 8	プロジェクターID ALL 🗸	IPアドレス 192 . 168	8 . 0 . 8 プロジェクターID ALL 🗸
ポート 1024	ポート сомз 〜	ポート 1024	ポート COM3 🗸
アカウント名	通信速度 9600 ~	アカウント名	通信速度 9600 🗸
パスワード	パリティ なし 🗸 🗸	パスワード	パリティーなし 🗸 🗸
	OK 終了		OK 終了

ソフトウェアを終了する

本ソフトウェアを終了します。

ロゴデータの編集作業を実施している場合は下図の確認画面が表示されます。

お知らせ

ロゴデータの編集作業を実施していない場合は、下図の確認画面は表示されずにそのまま終 了します。



(1)はい

ロゴデータを保存します。

ロゴデータの保存完了後、本ソフトウェアを終了します。

2いいえ

ロゴデータを保存せずに、本ソフトウェアを終了します。

③キャンセル

終了をキャンセルし、ロゴデータを編集する画面に戻ります。

本ソフトウェアのエラーメッセージとその対策方法を以下に示します。

エラー番号/メッセージ	ERROR:1 /未接続
メッセージの内容	プロジェクターとコンピューター間の通信ができません。
ご確認ください	 以下の項目を確認してください。 コンピューターとプロジェクターは正しく接続されていますか? コンピューターとプロジェクターのシリアル設定は一致していますか? もしくは LAN 設定は正しいですか? プロジェクター ID は接続中のプロジェクターと一致していますか? LAN 接続の場合は、ファイアウォールの設定が正しくされていますか? 他のアプリケーションが指定された COM ポートを使用していませんか? ロゴ転送を再度実施したときにこのエラーが表示された場合は、 プロジェクター本体側の主電源をオフ / オンをし、再度プロジェクターに 接続もしくはロゴ転送を実施してください。 ** プロジェクターとの接続方法については、「プロジェクターと接続する」 (8ページ)を参照してください。

エラー番号/メッセージ	ERROR:2 /このプロジェクターには対応していません
メッセージの内容	接続中のプロジェクターは対応機種ではありません。
ご確認ください	接続中のプロジェクターは、本ソフトウェアの対応機種ですか? 別紙対応機種一覧表をお調べください。

エラー番号/メッセージ	ERROR:3 /このファイルには対応していません
メッセージの内容	無効なファイルを選択しました。
ご確認ください	 以下の項目を確認してください。 1. ビットマップ形式のファイルですか? 2. ビットマップ形式のうち、対応していない方式のものではありませんか? 別紙対応機種一覧表をお調べください。 3. 選択したファイルが、本ソフトウェアで作成したロゴデータのファイルで すか?

エラー番号/メッセージ	ERROR:4 /このサイズには対応していません
メッセージの内容	対応していないサイズのビットマップが指定されました。
ご確認ください	ビットマップの大きさを確認してください。

エラー番号/メッセージ	ERROR:5 /ビットマップのサイズが 1024 × 768 ではありません
メッセージの内容	対応していないサイズのビットマップが指定されました。
ご確認ください	ビットマップの大きさを確認してください。

エラー番号/メッセージ	ERROR:6 /ビットマップのサイズが 1280 × 800 ではありません
メッセージの内容	対応していないサイズのビットマップが指定されました。
ご確認ください	ビットマップの大きさを確認してください。

エラー番号/メッセージ	ERROR:7 /プロジェクターがスタンバイではありません
メッセージの内容	プロジェクターの電源が ON になっています。
ご確認ください	以下の項目を確認してください。 1. プロジェクターの電源が OFF になっていますか? 2. プロジェクターのファンの回転が停止していますか? 3. お使いのプロジェクターは、本アプリケーションの対応機種ですか?

エラーメッセージー覧 (っづき)

エラー番号/メッセージ	ERROR:8 /書き込みに失敗しました
メッセージの内容	ファイルの保存に失敗しました。
ご確認ください	以下の項目を確認してください。 1. 保存を行うドライブの空き容量は十分ですか? 2. 保存を行うフォルダー/ファイルに対するアクセス権限はありますか?

エラー番号/メッセージ	ERROR:9 /転送に失敗しました
メッセージの内容	プロジェクターへの転送が終了していません。
ご確認ください	 以下の項目を確認してください。 コンピューターとプロジェクターは正しく接続されていますか? 本ソフトウェアでコンピューターとプロジェクターを接続後、 プロジェクターのシリアル設定もしくはLAN 設定を変更していませんか? プロジェクターのスタンバイモードが[ノーマル]以外に設定されていませんか? プロジェクターのスタンバイモードが[ノーマル]以外に設定されていませんか? レーマル]以外に設定されている場合、LAN 経由でロゴデータを転送する ことができません。スタンバイモードの設定を変更してください。 転送中にプロジェクター本体側の電源操作を行いませんでしたか? お使いのコンピューターが省電力状態に移行しませんでしたか? お使いのコンピューターにおいてログオフ、ユーザーの切り替え、 シャットダウンの操作を実行しませんでしたか? 上記項目を確認後、問題がないようでしたら、再度ロゴ転送を実施してください。
	オフ / オンをし、ロゴ転送を実施してください。

エラー番号/メッセージ	ERROR:10 /アカウント名もしくはパスワードが違います
メッセージの内容	入力されたアカウント名もしくはパスワードが、プロジェクターに設定されてい るものと異なります。
ご確認ください	正しいアカウント名とパスワードを入力してください。

エラー番号/メッセージ	ERROR:11 /プロジェクターがビジーです
メッセージの内容	プロジェクターからの応答がありません。
ご確認ください	時間をおいてから再度操作してください。

エラー番号/メッセージ	ERROR:12 /プロジェクターの機種が異なります
メッセージの内容	接続確認を行ったときに接続されていたプロジェクターと異なっています。
ご確認ください	 以下の項目を確認してください。 1. コンピューターとプロジェクターは正しく接続されていますか? 2. プロジェクターのシリアル設定もしくは LAN 設定は接続確認時から変更していませんか? 3. プロジェクター ID は接続中のプロジェクターと一致していますか?

エラー番号/メッセージ	ERROR:13 / プロジェクターのセキュリティーが有効になっています
メッセージの内容	プロジェクターのセキュリティー設定が有効になっています。
ご確認ください	セキュリティー設定を無効に変更してください。

エラーメッセージー覧 (っづき)

エラー番号/メッセージ	ERROR:14 /プロジェクターのスタンバイモードがエコになっています
メッセージの内容	プロジェクターのスタンバイモードが[エコ]に設定されています。
ご確認ください	スタンバイモードが [エコ] に設定されている場合、シリアル (RS-232C) 通信 でロゴデータを転送することができません。スタンバイモードの設定を変更して ください。

エラー番号/メッセージ	ERROR:15 /このプロジェクターのファームウエアバージョンには 対応していません
メッセージの内容	対応していないファームウエアバージョンです。
ご確認ください	販売店にご相談ください。

エラー番号/メッセージ	ERROR:16 /ロゴが存在しません
メッセージの内容	プロジェクターから読み込んだロゴにデータが存在しません。 登録されていないロゴデータを読み出すことはできません。
ご確認ください	ロゴデータの読み込み元の指定は正しいですか?

エラー番号/メッセージ	ERROR:17 / ini ファイルの書き込みに失敗しました
メッセージの内容	LogoTransferSoftware.ini ファイルの保存に失敗しました。
ご確認ください	以下の項目を確認してください。 1. 保存を行うドライブの空き容量は十分ですか? 2. 保存を行うフォルダー/ファイルに対するアクセス権限はありますか?

エラー番号/メッセージ	ERROR:18 / プロジェクターのスタンバイモードがノーマルになっていません
メッセージの内容	プロジェクターのスタンバイモードが〔ノーマル〕以外に設定されています。
ご確認ください	スタンバイモードが [ノーマル] に設定されていない場合、ロゴデータを転送す ることができません。スタンバイモードの設定を[ノーマル]に変更してください。

エラー番号/メッセージ	ERROR:19 /プロジェクターの準備モードが有効になっています
メッセージの内容	プロジェクターのリモートプレビュー機能の準備モードが有効になっています。
ご確認ください	リモートプレビュー機能の準備モードが有効な場合、ロゴデータを転送すること ができません。WEB 制御画面から準備モードを無効にしてください。

エラー番号/メッセージ	ERROR:20 /プロジェクターとの通信に失敗しました
メッセージの内容	プロジェクターと通信ができない状態にあります。
ご確認ください	以下の項目を確認してください。 コンピューターとプロジェクターは正しく接続されていますか? プロジェクターの電源は入っていますか? コンピューターとプロジェクターの通信設定は正しいですか? プロジェクターの管理者権限のアカウントの設定は完了していますか? ※プロジェクターとの接続方法については、「プロジェクターと接続する」 (8ページ)を参照してください。

エラーメッセージー覧 (っづき)

エラー番号/メッセージ	ERROR:21 /アカウント名もしくはパスワードが違います。
メッセージの内容	入力されたアカウント名もしくはパスワードが、プロジェクターに設定されてい るものと異なります。
ご確認ください	プロジェクターの WEB 制御で用いる正しいアカウント名とパスワードを入力し てください。

お知らせ

LogoTransferSoftware.ini ファイル:

このソフトウェアで設定した値を自動的にコンピューターに保存するファイルです。

もう一度次の点をお調べください。

本ソフトウェアをアンインストール、またはアップデートする際にメッセージが表示される
<「警告 1910。ショートカット …」というメッセージが表示されていませんか>
コンピューターに NVIDIA 社提供のドライバを入れていると、以下のメッセージが表示されることがあり
ます。
Logo Transfer Software Ver.2.0.18.1
ぎき 1910。ショートカット しogo TransferSoftware link を削除
できません。ショートカット ファイルが存在し、アクセスできる
ことを確認してください。
OK
「OK」ボタンをクリックすると、アンインストールおよびアップデート作業が継続されます。
本ソフトウェアをアンインストールした場合、デスクトップ上のショートカットアイコンが消えますが、次回コンピューター起動時に再度作成されますので、手動で削除してください。

商標について

- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または 登録商標です。なお、本文中では®やTMマークは明記していません。

ご注意

- ・本ソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- ・本ソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切の責任を負いか ねますのでご了承ください。
- ・本ソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更 することがあります。

パナソニック プロジェクターサポートセンター



受付時間:月~金(祝日と弊社休業日を除く) 9:00~17:30(12:00~13:00は受付のみ)

URL https://panasonic.biz/cns/projector/supportcenter/

- * 文書や電話でお答えすることがあります。また、返事を差しあげるのにお時間をいただくことがあります。
- * お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は 録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適 切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合 わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号